

## 抗がん剤のフィルター投与可否・遮光の必要性一覧

製品名	フィルター投与の可否	遮光の必要性
アイエコール	可	直射日光を避ける 投与時間が24時間以上の時に必要
アキラルックス	可(必須)	輸液バッグ～投与経路全般 必要
アクブラ	可	
アクラシノン	可	
アドセトリス	不可	
アバステン (ペバシズマブ)	可	
アービタックス	可	
アブラキサソ	不可	
アラノンジ	可	
アルケラン	可	
イストダックス	不可	
イダマイシン	可	
イホマイド	可	
イミフィンジ	可(必須)	
イリノテカン	可	直射日光を避ける 投与時間が24時間以上の時に必要
エクザール*	可	
エトボシド	不可	
エピルピシン	可	
エボルトラ	可	
エムプリシティ	可(必須)	
エルブラット (オキサリプラチン)	可	
エンドキサン	可	
エンハーツ	可(必須)	必要
オキサリプラチン (エルブラット)	可	
オニバイド	不可	
オブジーボ	可(必須)	
オンコピン*	可	
カイプロリス	可	
ガザイバ	可(必須)	
カドサイラ	可(必須)	
カルセド	可	
カルボプラチン	可	直射日光を避ける 投与時間が48時間以上の時に必要
キイトルーダ	可(必須)	
キロサイド	可	
ゲムシタピン	可	
コスメゲン	不可	
サイメリン	可	輸液バッグ～投与経路全般 必要
サイラムザ	可(必須)	
サークリサ	可(必須)	
ザルトラップ	可(必須)	
ジェブタナ	可(必須)	
シスプラチン	可	直射日光を避ける 投与時間が24時間以上の時に必要
シタラピン	可	
ジフォルタ	可	
ダウンマイシン	可	
ダカルバジン	可	輸液バッグ～投与経路全般 必要
ダラキューロ	不可	

製品名	フィルター投与の可否	遮光の必要性
ダラザレックス	可(必須)	
テセントリク	可(必須)	
テモダール	可	
トーリセル	可(必須)	
ドキシル	不可	
ドキシソルピシン	可	
ドセタキセル	可	
トラスツズマブ	可	
トリセノックス	可	
トリアキシン	可	
ニドラン	可	
ノバントロン	可	
パージェタ	可	
ハイカムチン	可	
パクリタキセル	可(必須)	
パベンチオ	可(必須)	
パドセブ	可	
ハラヴェン	可	
ビダーザ	可	
ピノルピン	可	
ビーリンサイト	可(必須)	
フィルデシン	可	
ブスルフェクス	可	
フルオロウラシル	可	
フルダラ	可	
プレオ	可	
ペクティビックス	可(必須)	
ベスボンサ	可	必要
ペバシズマブ (アバステン)	可	
ペメトレキセド	可	
ベルケイド	不可	
ポテリジオ	可	
ポライビー	可(必須)	
マイトマイシン	可	
マイロターグ	可(必須)	必要
ミリブラ	不可	
メフトレキセート	可	
ヤーボイ	可(必須)	
ユニツキシソ	不可	
ヨンデリス	可	
リサイオ	可(必須)	
リツキサソ (リツキシマブBS)	可	
レミトロ	不可	
レンチナン	可	
ロイスタチン	可	
ロイナーゼ	可	
ロゼウス	可	

20221019作成

※ナイロンフィルターは吸着するが、ポリスルホン系フィルターは問題無し。  
JMSプラネクタ輸液セット(フィルター付)JY-NFPW323L41とアンテリークはポリスルホン系フィルターであり、この一覧ではフィルター可と表記

## 抗がん剤支持療法のフィルター投与可否一覧

製品名	フィルター投与の可否
マンニトールS	不可 (フィルターは通過するが析出する可能性があるため)
KCL注20mEqキット	可
アロカリス	可
グラニセトロン	可
ソル・コーテフ	可 (原液投与では目詰まりの可能性あり、フラッシュ必要)
ゾレドロン酸	可
デキサート	可
パロノセトロン(アロキシ)	可
ファモチジン	可
プロイメンド	可
ポララミン	可
メクロプラミド	可
硫酸Mg補正液	可

※全てメーカー回答

20220816作成